

顧客の健康に寄り添う 仕事だからこそ 社員がいつでも 笑顔でいられる会社に

いつもプラスアルファの価値を提供し
地域への貢献を実現する保険代理店

株式会社アルファパートナー



POINT

- 健康づくりについて話すランチミーティングを実施
- 担当者から禁煙に挑戦し、社内の喫煙者ゼロを達成
- 子連れ出勤を認めるなど仕事と家庭の両立支援を実施



DATE

個人向け・法人向けの生命保険・損害保険を取り扱い、最適な備えを提案。さらに保険商品以外にもプラスアルファの提案を目指し、ファイナンシャルプランナーなどの知識・経験を持つスタッフが、お客様に寄り添ったリスク・コンサルティングを行っている。

〒500-8212 岐阜市日野南7-10-1
TEL.058-248-4560
<https://www.alpha-pt.co.jp>

設 立 ●2010(平成22)年7月
代 表 者 ●代表取締役 大西 秀樹
従業員数 ●11名(男6名・女5名)



アルファパートナーは「社員が笑顔でいられる会社」を目指して、創業当時から毎日行きたいと思う職場環境づくりや、社員の心と体の健康を維持する経営に取り組んできました。仕事に負担にならないよう、社員が何でも言える家族的な雰囲気、社風を大切に、社員同士のコミュニケーションの場を積極的に創出。その中で、健康に関する情報を共有して、健康づくりへの意識を醸成しています。

創業当時から 健康経営に注力

自身もサラリーマン経験のある大西秀樹社長が、「社員の笑顔があふれ、行きたくなる会社をつくりたい」と、2010年に立ち上げたアルファパートナー。その思いを実現するため、常に社員の立場に立った職場環境の改善に努めてきました。

17年に建設した新社屋は、心に安らぎを感じられる木の温もりをふんだんに取り入れるため木造3

階建てとし、室内も木目を生かした空間を演出。長時間オフィスで勤務する社員が、心地よく過ごせるよう配慮されています。さらに3階には、社員全員が大きなテーブルを囲んで集うことができるフリースペースを設け、コミュニケーションの場として活用しています。



何でも言い合える 職場風土づくりに注力

「私たちは仕事でさまざまな企業を訪問しますが、その中には、社員の方のメンタルヘルスに悩む企業も少なくありません。よい職場環境をつくるためには、余計なストレスが生じないように、組織内の人間関係を円滑にするのが大切だと感じています」と語る大西社長。そのために社内



では、言い合いを自由に発言できる、風通しのいい雰囲気をつくるのが心がけています。

その方法の1つとして、アルファパートナーでは社員が揃って昼食をとり、仕事や子育てなどの悩みを話し合うランチタイムミーティングを実施。また家族も参加できるバーベキューやボウリング大会、旅行などのレクリエーションを企画し、家族ぐるみでお互いを理解し合う機会を創出しています。

昼食の時間を利用して 健康づくりを啓発

悩み事を相談し合うついでに加え、ランチタイムミーティングで行っているのが、健康への意識を高める情報共有です。アルファパートナーでは、この時間を活用して、社員に対するがん検診の啓発を実施。生命保険会社から講師を呼んで、がんについての知識を学んだ

社員同士で健康に 関する情報交換も



り、乳がんの検診モデルを使ってしこりを実感したりと、定期的にさまざまな研修を行っています。時には、テーマを決めて、協会けんぽなどから入手した健康づくりに関わる資料を配布するなど、健康への意識を高める取組みを実践しています。

こうした取組みを進めるにつれ、社員の中でも自然と健康に関する話題が出るようになり、歯の健康について話し合った後に、多くの社員が歯科検診に通うようになると、効果も表れています。中には、独身の男性社員に対して、女性社員が食べた方がいい食材や食べる時間帯、外食時に選ぶメニューなどをアドバイスする姿も見られるようになりました。男性社員も「家族のように何時以降は食べるのを控えて」など具体的なアドバ

イスをもらえてありがたい」と笑顔を見せます。

営業部営業推進課の塚本喜美子さんも「子どもの健康に配慮した料理を教え合ったり、健康に関する本を紹介してもらったりと、他の社員が行っている健康への取組みを日々の生活に役立てています。私自身も事務仕事で腰痛や肩こりに悩まされていたのですが、簡単にできるヨガポーズを教えてください、症状を改善することができました」と笑顔で話します。また、こうした取組みで社員の意識が向上した結果、特定健診や肺がん検診の受診率は100%を達成しています。

自発的な禁煙運動で 社内の喫煙者がゼロに

アルファパートナーでは、以前社内にも数名の喫煙者がいましたが、そのうちの1人が健康経営に取り組み担当者となったことで、禁煙を決意。「産業医にはセミナー」

仕事と家庭との両立を 積極的に支援

従業員の半数を女性が占めるアルファパートナーは、女性社員のメンタルヘルスを重要視。女性社員からの提案や改善活動で、働きやすい職場づくりを推進する「スマイルプロジェクト」を実施して、就業規則の改善を行っています。また、法人企業向けの担当者や、お客様への提案にもつながると、職場復帰や両立支援に関する研修を受け、両立支援コーディネーターの資格を取得。仕事に生かすのももちろん、社内にも情報をフィードバックして、仕事と家庭を両立しやすい体制づくりにつなげています。例えば、お互いの業務内容を共有するソフトを活用することで、病気休暇を取得した際にも、業務を滞らせなく引き継ぎを実施。そのおかげで病気休暇を取得した従業員は安心して療養でき、

スムーズな復職に至りました。

こうした健康経営の取組みについて大西社長は「私たちは、お客様へ健康や検診の受診について話す機会が多い仕事。自分たちが健康づくりや健康経営を実践することで、説得力のある情報をお客様に提供できます。また、健康に対する多くの知識を身につけることができ、よりよい提案やサービス、企業価値の向上にもつながっています。私たちが健康経営に取り組むことで、地元企業のモデルケースとなり、地域に貢献していきたい」と、今後は社内でもオーキングなど運動をする機会にチャレンジするなど、取組みをさらに進めていく考えです。

を受講するなど努力を重ね、禁煙を達成しました。その後、その姿に触発されたもう一人の喫煙者も禁煙に成功し、社内の喫煙者ゼロを実現。



禁煙に成功した営業部営業課の足田明葉さんは「自分が吸っていた時は気がつかなかったのですが、お客様に『たばこをやめたんだね』と指摘され、たばこ独特の臭いで不快な思いをさせていたことを実感しました。今は食事もお酒もなくなり、やめてよかったと感じています」と話し、喫煙者がゼロになった現在も、チーフシ配布などを通じて、受動喫煙の危険性などの啓発を続けていきます。



PICK UP

アルファパートナーでは、コロナ禍で学校や幼稚園・保育園が休校・休園になった際に、社員の子連れ出勤を実施。3階の食堂を活用し、子どもたちが自由に過ごせる場所を提供したことで、社員も子どもを家で留守番させることなく、目が届く場所で仕事ができ、精神的な不安やストレスを軽減しながら、仕事と家庭の両立を継続することができました。



また保険業界では一般的な個別の営業ノルマをなくし、会社全体で目標達成を目指すスタイルを採用し、仕事面での精神的な負担軽減にも努めています。